

JAIG - NEWS

No.8

Feb.86

第4回 JAIG ミーティング開催のお知らせ

昨年1月に第1回目のミーティングをモーゼル河畔ヴィンニンゲンで開かれて以来機会ある事に会合を持ち今回再びヴィンニンゲンにて開催の運びとなりました。地理的に DL の中央部に位置しているところから、多数の方々の御出席があるものと期待しております。頭初1月と考えていましたが いろいろな都合でのびのびになり皆様に御迷惑をおかけした様で ここにお詫びいたします。

- ・ 日時 1986年3月15日 土曜日 午後3時30分から
- ・ 場所 Weinhaus Hoffnung Familie Lange

Fährstr. 37 5406 Winnigen/Mosel(bei Koblenz)

第1回目と同じ場所ですので御存知の方も多いと思いますが始めての方に説明しますと、ここ Winnigen は Koblenz 駅で Trier 方面行きの列車に乗換えで3つ目(10分)です。土曜日の列車の接続は Koblenz 15時15分→Winnigen 15時26分がよろしいでしょう。ここ Weinhaus Hoffnung はこの町のほぼ中央にあり駅から5分程です。下車された際駅で聞かれてもよろしいでしょうし上記の TEL に連絡下されば私(DF2CW)が迎えに参ります。

遠方から参加される方は3月5日頃まで工藤 OM(DL/JA7SOQ)、

_____ あて御連絡ください。TEL で連絡される方は月から金、02102-45610 私(DF2CW)は2月25日から5週間程不在で連絡がとれませんが この間工藤 OM が代行してくれます。しかし3月15日は正午には会場に着いて居ります。

今回は 18時頃から DK6PK の協力で地元 Ham との合同ミーティングを企画しました。このことは DLR(Deutschland Rundsprach, Bauratal の AFZ から DFφAFZ のコールサインで毎週木曜日 17.³⁰UTC に 3.677MHzSSB で放送される)で知らせがあります。時間のある方は受信を試みて下さい。当日(3月15日)は DBφZK(コブレンツのルー局, R6,145,725MHz)にて常時(12時以降)交信出来る様にして居ります。DF2CW/Mobil を呼んで下さい。皆様の多数の参加をお待ちして居ります。

Winnigen/Mosel で逢いましょう!!

Best 73 & 88 de DF2CW

lki

昨年9月に Weinheim に於いて開かれたミーティングに出席された方々とその時の記念撮影です。



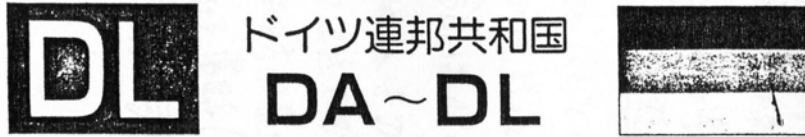
D	D	DL	J
J	D	/	A
φ	5	J	φ
K	E	A	C
E	F	7	Q
		S	P
		O	
		Q	

15. Sept. 85 UKW-Tagung am Weinheim

1. JA7SOQ Kenju Kudo
2. JAφCQP T. Komatsu
3. DDSEF N. Nakajima
4. DJφKE Y. Nakajima
5. DD5GJ S. Hatomoto
6. DD5DN K. YAMANE
7. JA3RXQ Y. MATSUMOTO
8. JH3HXJ (?) S. OKAMOTO
9. JA3MOB K. Imano

CQ誌に掲載されたDLで活躍のOMの方々の記録です。

日本人による海外アマチュア無線局運用の記録④



④国について
(世界の動きと世界の国一頁表より)
面積: 249,000km²
人口: 61,420,000人
首都: ボン
言語: 独語

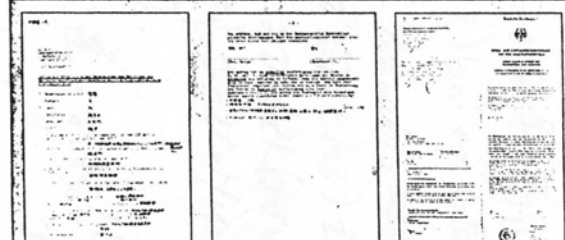
④免許申請先
各地方のOberpost direktion(郵便局)ただし、外国から申請する場合はDARCに代行申請を依頼するのがよいでしょう。

④アマチュア無線団体
(I ARU加盟団体リストより)
Deutscher Amateur Radio Club (DARC) Lindenallee6, P.O. Box 1155, D-3507 Baunatal 1, Federal Republic of Germany.

④DF2CW: 志岐邦彦
1966年1月、西ドイツ、シーメンス社に就職のため渡独。無線局開局のため、当地の電波に問い合わせたところ、JAの無線従事者免許証の翻訳を日本大使館へ送るだけでよろしいとのこと。申請書とともに提出。1969年8月、D J Ø V K の呼出符でBクラスが許可になり運用を開始する。
その後国籍変更により、外国市民として私に与えられていたこのコールサインを返上。新たに、1976年10月にDF2CWが交付される。

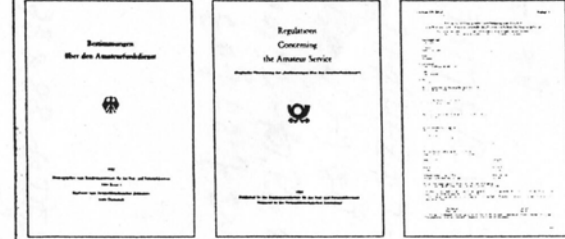
申請にあたっては、当地のハムの援助を必要としなほど簡易であった。ただし、当地では月額3ドイツマルク(約350円)の電波使用料とでもいべき費用を支払わねばならない。
申請は所轄のOberpost direktionのアマチュア無線係に提出する必要がある。
④DKØIFA: 広島孝之
ベルリンエレクトロニクスショーの会場に設置してあったDARC、Belrinのブースで、JAの免許を提示、そこに置いてあるノートにJAのコールと氏名を記入するだけで、その場で運用させてく

れた。
世界で有名なコンテストマンのSP9PTとともに運用したこともあり、eqDL (Oct.1973) に紹介された。
文信局長は、JAと30局程度、そのほかヨーロッパ100局程度、東西のハムが同時に運用したことでドイツで話題になったhi。
④DL/JA7SQ: 工藤健寿
D J Ø のコールをとるべく書類の準備をしており、QRT中、アパートの隣にアンテナをはれず、コールがおりたら、10、18、24MHzのCWでオン・エアすべく、アンテナをどのようにするか考えている。7や14MHzは、ヨーロッパのQRMがあまりにもひどく、運用したいとは思わない。
DLには仕事の関係できており、JAにはいつ帰るかまったく未定。DLでゲストライセンスをもらった当時は、約1年で1500局とQSOしたが、今はゼロ。IC-720Aにヤエスのモービルアンテナをベランダに付けてのオペレートだったが、けっこう楽しめた。一時HFモービルをやっており、28MHzSSBで、CEとQSOできたことがある。



▲外国人用申請書(ドイツ語の訳文は、D J Ø K E 中嶋さんによる)。

▲DF2CWの免許状(国境がドイツ、住所の変更方法に注意)。



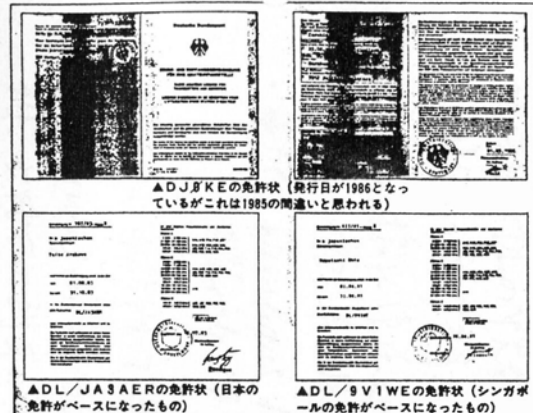
▲アマチュア無線の規程集(ドイツ語版)

▲アマチュア無線の規程集(英語版)

▲申請書(外国人用)

④DL/JG1GWL: 杉本賢治
仕事で行く予定があり、DK9JD(2回)JAに遊びにきていてに申請をお願いして3か月間の免許をもらった。申請から免許証入手までの期間は4週間以内、費用はDM15.- (約1,200円) だった。出張が中止になり免許期間中には運用できなかったが、JA免許で簡単にDL免許をくれるというのはいずれいい。特に、現住所不定でもくれるところが、旅行者にとってはありがたいことだ。

④DL/JA3AER: 荒川泰蔵
1983年8月、パケーションでニューヨークからヨーロッパに出かける機会があり、DF2CW志岐さんに頼んで事前に免許をとってもらった。これはJAの免



▲D J Ø K E の免許状 (発行日が1986となっているがこれは1985の間違いと思われる)

▲DL/JA3AERの免許状(日本の免許がベースになったもの)

▲ADL/ØV1WEの免許状(シンガポールの免許がベースになったもの)

許をベースとした3か月間の運用許可だが、延長は認められない。
ベルギーより西ドイツにはいった8月14日から、オーストリアに出る8月16日までの3日間、バスやホテルから2mのハンディ・トランシーバーでQRVし、レピーターを使って合計23局とQSOした。
バスでの団体旅行のため、自由行動の時間がほとんどなく、残念ながらHFで運用する機会は無かったが、レピーターを使った2mでのQSOには、PDØAGY、Y27JL、OE1IFWなど近隣諸国も含まれており国際的だった。
④D J Ø K E : 中嶋康久

無線免許の担当者を紹介してもらい、申請後2か月にて免許証を発行してもらった。
アパートに入居しているため、屋上へのアンテナ設置はひじょうに困難で、アパート所有者の承認を得なければならぬ。ベランダ、バルコニーへの設置は可能であるため、AO-10の運用を開始した。
DARCの地域クラブに入会するため、近くのハムショップの店主から現住所に近いDARC ØV Esslingen (DOK P Ø 2) の人を紹介してもらい手続を行った。登録料15DM、年会費80DM、QSLカードはeqDLに出ているQSLカードを印刷してくれる会社に、手紙でサンプルを送ってもらい、当方の希望するデザインで製作中。
④DL/ØV1WE: 太田政俊
DF2CW志岐さんに免許申請依頼し、3か月の免許を取得。
おそらく、シンガポールのコールサインでのDLでの運用は初めてのものだと思います。

DD5EF: 中嶋典子
ソニー(株)の駐在員として渡独したが、西独におけるアマチュア無線免許申請の方法がわからず、免許になるまで赴任より5か月過ぎてしまった。たまたま、Stuttgart空港の税関と当社にハムがいたことで、Stuttgartの郵政局のアマチュア



▲DF2CW志岐さん



▲ミュンヘンにて、バイエルン料理を楽しむJA3UB/DL3KHさん(左から二人目)



▲DL/ØV1WEのQSLカード

▲JA7SQ/DLのQSLカード

④免許または運用の一覧表

コールサイン	種別	氏名(日本のコールサイン)	取得年月	クラス	コールサイン	種別	氏名(日本のコールサイン)	取得年月	クラス
D J Ø ER	(P)	長倉正英	1968*		DL/JA7SQ	(T)	工藤健寿(JA7SQ)	1981*	B
D J Ø UL	(P)	松村 創(JA1SC)	1968*		D J Ø VK	(P)	長部邦広(JA1OLT)	1982*	
JA1AN/DL	(T)	原 高三(JA1AN)	1968		DL/JH3CL	(T)	岡 育生(JH3CL)	1982	
DF2CW	(P)	志岐邦彦(JA7HM)	1969	B	DL/JR1SWB	(T)	中山幹康(JR1SWB)	1982*	
D J Ø ZU	(P)	河合照夫(JA1BCN)	1971*		DD5GO	(P)	大橋英世(JH2PKO)	1983*	
DD5GI	(P)	石井 浩(JA1HNN)	1971*		DL/JA1BRK	(T)	米村太刀夫(JA1BRK)	1983	
DKØIFA	(CG)	広島孝之(JA1BNW)	1973		DL/JG1GWL	(T)	杉本賢治(JG1GWL)	1983	B
JE1BQE/DL	(T)	根日根英之(JE1BQE)	1976*		DL/JA3AER	(T)	荒川泰蔵(JA3AER)	1983*	B
JA3UB/DL	(T)	三好三郎(JA3UB)	1979		DL/JA3BAG	(T)	原 周三(JA3BAG)	1984	
DL/JR1HJ	(T)	土屋利雄(JR1HJS)	1980		D J Ø KE	(P)	中嶋康久(JA9IFF)	1985	B
DL/JR1LJ	(T)	土屋啓子(JR1LJ)	1980		DD5EF	(P)	中嶋典子(JQ1NRO)	1985	C
D J Ø LV	(P)	熊谷勝仁(JA1MCZ)	1981*		DL/JA6EGL	(T)	三宅正司(JA6EGL)	1985	B
D J Ø YJ	(P)	室賀将一(JA3XKJ)	1981*		DL/ØV1WE	(T)	太田政俊(JH1FNS)	1985	B
DD5CM	(P)	室賀みどり(JG3SNE)	1981*						

(注1) P:個人局 T:個人への臨時運用許可 CG:クラブ局のゲストオペレーター (注2)* 遷移年(免許または運用年は不明)